

# 稲毛 インカレロング三連覇!

インカレロング大会 2014年10月12日 福井県あわら市

稲毛日名子（お茶の水女子大学 4）がインカレのロング競技を3年連続で制した。ロング三連覇は女子では初めて、男女合わせて2人目の快挙だ。

日本学生オリエンテーリング選手権大会  
ロングディスタンス競技  
2014年10月12日 福井県あわら市

## 結果女子

1	稲毛日菜子	1:01:55	お茶の水大 4
2	宮川早穂	1:08:13	立教大学 3
3	伊東瑠実子	1:18:24	東京大学 3
4	五味あずさ	1:28:58	金沢大学 3
5	増田七彩	1:34:51	東京大学 2
6	宮田優花	1:35:26	筑波大学 3

## 結果男子

1	松下睦生	1:16:24	京都大学 4
2	糸賀翔太	1:20:48	東京大学 4
3	深田 恒	1:22:03	東京大学 3
4	福井悠太	1:23:29	東京大学 3
5	尾崎弘和	1:25:26	早稲田大学 4
6	嶋岡雅浩	1:25:53	名古屋大学 4



稲毛日菜子（御茶の水女子大学 4）。  
学生女子の中ではロング種目は無敵を誇る。

## 稲毛ロング三連覇

インカレの歴史に女子三連覇が刻まれた。稲毛日名子（お茶の水女子大学 4）

4 orienteering magazine 2014.12

が2014年10月12日開催された日本学生選手権ロング競技女子では史上初の三連覇を達成したのだ。過去に二連覇した者は数名いるが、三連覇したのは30年前の男子で村越 真が唯一の存在で、女子ではまだ誰も三連覇した者はいなかった。一人の選手が最長4年、4回しか出場することができないインカレロング種目で三連覇を達成するのは並大抵のことではない。

しかも、結果を見れば圧勝とも言える勝ちっぷりである。森の中の巡航速度がズバ抜けているだけでなく、ミスも最小限に抑えている。体力的なアドバンテージが緻密なナビゲーションにうまく結びついたようだ。

## 松下ロング優勝

松下睦生（京都大学 4）が男子のロング種目を制した。出走者の中で唯一予想ウイニング設定時間の80分を切るタイムを叩き出し、2位に4分の大差をつけ、京都大学にはじめてロング競技優勝杯を持ち帰った。

しかも京都大学は12位に大学1年生ながら平原蒼士が入り、次世代の活躍も期待できそうだ。

昨年までは男子学生は東京大学の1強という状態だったが、今年は京都大学 vs. 東京大学の2強という構図になっている。

今回優勝した松下は、この9月に行われたクラブ7人リレーにおいて、京大京女チームでアンカーを務め、チームに優勝をもたらす活躍を見せた。クラブ7人リレーの勢いそのままにこのインカレロングを優勝で飾った。

## 参加者 1000 人の熱気

今回のインカレロング大会は、併設大会を含めて参加者が1,000人となった。1,000人を超えるオリエンテーリング大会はどれだけ久しぶりだろうか。一時期は減少していた日本学連加盟員もここ2,3年は増加傾向にある。学生数の復活に伴って、インカレの活気も戻ってきた。

## 選手権を支えた地図

今回のインカレロング大会は、2013年3月に行われた全日本オリエンテーリング大会の地図を利用し、さらにそ

の範囲を拡張して行われた。提供された地図とトレインはインカレロング大会を行うのに十分な品質であった。オリエンテーリング競技者人口の少ない福井県でインカレロングを実施できた理由は、三上氏というマッパーがこの地に住んでいたからだ。

## 北陸の熱意

今回のインカレロング運営は、若手OB主体で進められた。北陸、東海、関西に就職したOBが「インカレ開催」の熱意のもとに結集し、よりよい舞台を提供すべく心血を注いで創り上げた。特に開催地に近い金沢大学のOBが多かった。大きなイベントは初めて開催する運営者が多かったが、準備の甲斐あって素晴らしい競技会となった。

## 迫る台風19号!

2014年10月12日は台風19号が本州を直撃する予想だった。だが台風の移動速度が遅く、10月12日は無風で晴れという絶好のスポーツ日和となった。結局台風が福井県を直撃したのは翌日の10月13日の午後になってから。運営として本当に助かった。

(木村佳司)



松下睦生（京都大学 4）。京都大学に初めてのロング種目優勝をもたらした。